

	2018年 11月7日 第799号	JR東海労新幹線関西地方本部 http://www.geocities.jp/jrcu_kansai/ 発行責任者 畑野 浩孝 編集責任者 島津 力
---	-------------------------	---

9月18日に提出した「一方的な休日出勤」のお知らせに関する緊急申し入れに対して

11月8日にやっと業務委員会を開催！

9月13日の突然な「お知らせ」で職場から怒りの声が相次いで以降、早くも2ヶ月が経過しようとしています。

最近、運輸所等の職場では「急に年休が出るようになった」という話を聞きますが、会社としては「一定の年休を出しておけば、怒りや不満の声も静まるだろう」くらいに考えているのかもしれませんが。

私たちJR東海労新幹線関西地本は9月18日、関西支社に対して「一方的な休日出勤」に反対であることを明確にして緊急の申し入れを行っていましたが、11月8日にやっと業務委員会が開催されます。その内容は皆さんに速報でお知らせしますので注目して下さい！

10月に仲間が有無も言わず休日出勤をさせられてしまいました。

JR東海会社に存在する各労働組合は会社から無視または軽視され、団体交渉は拒否され、業務委員会さえなかなか開催されません。それどころか一部の労働組合役員は36条協定を締結し、組合員の声を無視している始末です。その結果、10月から多くの仲間（組合員）が有無も言わず一方的な休日出勤をさせられています。

11月からも仲間が泣く泣く休日出勤＝泣き寝入りさせられようとしています。

11月にも多くの仲間が休日出勤を指定されています。

仲間の「本当にしんどい！」「休日は休みたい」の声は一切無視されているのです。

これからもずっと泣き寝入りをしなければならないのでしょうか！？

労働組合も会社と一緒に組合員（仲間）を泣き寝入りさせるのか！？

今さら言うまでも無く、労働組合は組合員の切実な声に耳を傾け、問題解決・要求実現の為に団結して行動しなければなりません。組合員の切実な声を無視し続け、いつまでも組合員に泣き寝入りさせ続けているようでは、「御用組合」と言われても仕方ありません。

私たちは絶対に泣き寝入りしない！

私たちの組合は御用組合ではありません！絶対に泣き寝入りはしません！

職場で共に働く仲間の切実な声に耳を傾け、問題解決・要求実現の為に闘います！

一方的な休日出勤反対！ 休みたい時には休めるように共に闘おう！